

～毎月10日は人権を考える日～

## バリアフリーとユニバーサルデザイン



## 1 意味

バリアフリーは、高齢者・障がい者等が生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）することです。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁などすべての障壁を除去する考え方です。

一方、ユニバーサルデザインは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計です。

すなわち、バリアフリーは、障がいによりもたらされるバリアに対処する考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインは、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように、あらかじめ、街や生活環境をデザインする考え方です。

## 2 ハード整備とソフト事業

ハード整備とは、直接、街や建物、乗り物、などを整備することを指しますが、ユニバーサルデザインとバリアフリーでは考え方が少し異なる点があります。また、ソフト事業があり、これは心の啓発（教育）のことです。

	種 類	思想・発想	普及スタイル	対象者
ハード 整 備	ユニバーサル デザイン	多くの人に使いやすい デザイン	良いものを褒めたたえ 推奨する	すべての人
	バリアフリー	高齢者や障がい者が 使いやすい街に変化	施設の計画に規制する ことで普及	高齢者 障がい者等
ソフト 事 業	ユニバーサル デザイン バリアフリー	心のやさしさや 思いやり	啓発・教育	すべての人

両方に共通する「心のやさしさや思いやり」は、「すべての人を個人として尊重し、思いやりの心をもって助け合う態度を育て、共に生きる人間の心の育成をめざす」ことにつながります。